

市民の皆様の声^{やまとけい}を聞く市政の実現

10月3日、令和4年第3回議会定例会が開会され、冒頭に先の市長選挙で当選した山本市長が所信を表明しました。

市長の任期となる今後4年間で取り組む主な施策についての概要を紹介します。

ごあいさつ

これからの4年間、私が市政のかじ取りを担うにあたり、市民の皆様から強くご支援いただいた結果であるということをお忘れなく、己を律し、謙虚に市政運営にあたることを約束いたします。

私は市長選挙の際、「便利な交野コミュニティーバス」「市役所は移転せず耐震化」「小中一貫校ではなく小中別に整備」「水道料金の13%値上げ凍結」「財政健全化」という大きく5つの公約を掲げました。これらを重点施策とし、丁寧に市民の皆様の声^{やまとけい}を聞く市政を実現いたします。

前市政の方向性とは大きく異なる点もございますが、ご理解くださいますようお願いいたします。



便利な交野コミュニティーバス

平成31年に廃止された「ゆうゆうバス」に代わるものとして、コミュニティーバス等の移動手段の確保に努めます。そのため、市内バス事業者を含め、今後の公共交通について協議する場を設けます。

また、駅勢圏を1,000m、バス停勢圏を300mとしている市の考え方を今後はせず、市民の皆様の声^{やまとけい}を聞きながら見直しを行います。

市役所は移転せず耐震化

市役所については、近年中の移転は行いません。

前市政における移転計画は、一時、総額100億円にも達しかねない事業計画となりましたが、市役所本館の耐震診断報告書では、耐震補強により、今後20～30年は利用可能であると考えられます。耐震工事に必要な費用は、工事中の仮庁舎建設費用や借地料も含め10億円にも満たないことから、移転よりも優位性があります。なお、青年の家については、エレベーター設置や駐車場拡充などに取り組みます。

今ある公共施設をできる限り有効活用することで負担軽減を図り、市民の皆様とともに将来におけるよりよい公共施設や庁舎のあり方を導き出したいと考えております。

小中一貫校ではなく小中別に整備

市内の各小学校の敷地面積や地理的条件等を考えると、現在の児童・生徒数では施設一体型小中一貫校はふさわしくないものと考え、現在、令和7年度の開設に向けて施工中である施設一体型小中一貫校については、小学校と中学校を分離いたします。

まずは進行中の工事について契約変更を念頭に事業者と協議を行うとともに、第一中学校区のみなさまには適宜、説明会を開催いたします。

水道料金の13%値上げ凍結

現在の物価高を考慮すると、さらに水道料金を値上げすることはそぐわないと考えます。

物価高騰による国からの臨時交付金が市区町村に交付される予定ですので、これを利用して、まずは水道基本料金2か月分の無料化を行います。

水道管更新についても順次実施し、安心・安全な水道を、値上げを行うことなく市民の皆様^{やまとけい}に提供し続けたいと考えております。

財政健全化

過去、交野市は土地開発公社の問題により財政が悪化いたしました。その後、多くの負の遺産は整理されたものの、まだ約61億円もの負債があります。また、別に土地開発公社の土地を買い戻した負債が約75億円あります。

令和3年度決算において市の基金は74億円に上るため、これを活用して公社保有地のうち売却できる土地は売却いたします。

財政の方向性としては、土地開発公社の負の遺産を整理した上で、その後の市長が市民の声^{やまとけい}を聞きながら、庁舎や公共施設、学校をどうするか決めるべきだと考えます。過去の負の遺産による財政上の制約を受けることなく市政運営ができる土台づくりを行います。

その他の施策

5つの重点施策のほか、任期中に取り組むその他の施策として「まちづくり」「出産・子育て・教育」「高齢者および障がい者支援」「コロナ対策」の4つの施策を掲げます。

まちづくり

農空間保全:南星台地域等の市有森林の活用・売却で、新たな農空間を整備

防災対策:小中学校の体育館にLPガス式のエアコンと発電機を一部導入

防犯対策:市有地等を活用した新たな交番設置や、より解像度の高い防犯カメラ網の構築

公園整備:ボール遊びが可能な公園等や、寺作業所跡地のテニスコート等を整備

その他、星田北・星田駅北エリアのまちづくり、消防、ごみ処理など。

出産・子育て・教育

産前産後サポート:特定不妊治療の公費助成や外出支援制度の拡充を検討

少人数学級:中学校35人以下学級を目指し、教員の負担軽減や子どもの教育環境を改善

給食費:臨時交付金等を活用し、段階的な無償化に着手

その他、小中学校のトイレ改修、通学路の見守りなど。

高齢者および障がい者支援

健康づくり:ワンコインがん検診事業などを開始

高齢者雇用:シルバー人材センター会員の活躍の場を拡充

障がい児保育:こどもゆうゆうセンターで単独通園も可とする環境整備等を検討

コロナ対策

ワクチン接種:接種意志の尊重と接種希望者に対する迅速な体制を両立。子どものワクチン接種の申告制での導入

検査体制:国に加え、市としてのPCR検査場または抗原検査場確保を目指す

保健師増員:増員により、保健所への人員派遣や自宅療養者支援を柔軟に実施

